

プログラミング指導教員養成塾 成果報告会	所属名	いちき串木野市立照島小学校	氏名	弓指 修
教科・領域	総合的な学習の時間	単元・題材名	お米マイパワー	
プログラミングの形態	フィジカル	教材・言語	MESH	

MESH を使って私たちの大事なお米を守りたい!!

～ 5年 総合的な学習の時間におけるプログラミング教育A分類 ～

創立112年目（明治40年創立）教育指標「波濤を越えて」を昭和25年に設定

全校児童 211名 6学級，特別支援学級3（知的1情緒2）

いちき串木野市の中央部からやや南西部に位置。豊かな田園が広がり，照島海岸もある恵まれた自然環境

情報活用能力の育成のためのカリキュラム・マネジメント

米作り42時間+プログラミング6時間

これまでの米作りの学習テーマとプログラミング教育を横断的に組み合わせる。

子供の問題解決の発展

お米づくり→身近な問題解決への取組

お米マイパワー

- 1 始めよう「米作り」(11時間)
 - ・学習田との出会い
 - ①メージマップを作る
 - ②学習田を観察しよう
 - ③「米作り」をしよう
 - ・タニシとり
 - ・田植えをしよう

- 2 めざせお米パーティー(27時間)
 - ① 報告会をしよう
 - ② お米を守ろう
 - ・かかし作り
 - ・かかし立て
 - ③ 収穫だ!
 - ・稲刈りをする
 - ・乾燥(かけ干し)する
 - ・脱穀する
 - ④ なわいをしよう
 - ★祭日週間の授業参観で実施
 - ・なわうち
 - ・なわい
 - ⑤ もちつき大会をしよう
 - ・もちつきの準備をする
 - ・もちつき大会をしよう
 - ⑥ 2学期の取組をふり返り，感謝の手紙を書く。

- 3 お米に感謝!(4時間)
 - ① お米に感謝しよう
 - ・レポート作り
 - ② まとめよう
 - ・発表会を開く

新規
プログラミング教育
(6時間)
米作りで困ったことを解決するためにMESHを使ったプログラム作成

外部の人的・物的資源の活用

ICT支援員による授業支援+プロによる子供たちの活動への称賛

ICT支援員の授業支援(機器操作等)と子供たちのアイデアへの称賛をしていただく。

米作り協会の皆さんと田植え，稲刈り，餅つき，縄ないで子供たちの活動を称賛・励まし



成果

子供たちの学びの深まり

決め手は「センサーで働くかかし」

自分たちが作ったお米を守るために，プログラミングで解決しよう→「スマート農業」へ農家の人たちの苦勞を解決したい。

決め手は「プレゼン大会」

お互いのよかった点を称賛し合う。

成就感・自己有用感の場(金銭教育)

決め手は「餅米販売・お餅づくり」

作ったお米を販売したり，お餅を作ったりして留学生や協会の皆さんに食べていただく。

郷土愛を育む場

決め手は「照島の自然と人々との交流」

協会の皆さんとの交流

課題

- 今後もプログラミング教育の実践の積み重ねを行い，本校の教育活動を更に充実させていきたい。
- この取組を契機として，全校態勢で成果と課題を共有し，取組を広げていきたい。
- 身に付けさせたい力や技能について，全校で共通理解・共通実践に取り組んでいきたい。